

## △罷業後の窮状

罷業後は交通労働組合本部を芝區本芝より舊青山支部後に移し同所に杉原代理々事長を始め幹部等相寄りて組合行務を執り、組合勢力の挽回の方途を講ずる一方五月三日の協議事項の實行に着手したるが、如何せん此の罷業に關して八十餘名の收監者及二百五十餘名の誠首者を出したること、組合は其の中堅を失ひ實質上團結力を失ひたる觀あり、而かも電氣局は當初従業員の復職を申出づるに際して、別段交通労働組合より脱會するを條件とせる如き事なかりしに、復職者中より更に四十名の誠首を行ひ、各出張所従業員控室には、組合脱會届簿なるものを設け、従業員にして組合を脱會したる者は之に記入すること、し、一方尙ほ誠首を續行すべしと稱し居れるのみならず、二百五十餘名の誠首者の姓名は東京府下の各工場に通達して彼等の就職を困難ならしめつゝあれば、心なる組合員までも表面組合員として目せらるゝ事を避けんとするより、罷業後時日を經過するにつれ、組合は意外の深傷を負ひて名狀すべからざる窮境に陥りたること愈々明瞭となれり。若し電氣局が、之を機として従業員團體を破壊せんと企てたりとせば、殆んど其目的は達成せられたりと云ふべし。されば組合に取りて現下の大事業は唯組合勢力を回復するにありと云ふべく、依つて組合本部は左記の檄文を従業員間に配布したり。

## 市電従業員諸君に檄す

労働者の團結たる組合運動は、労働者を人間として世に認めさせる唯だ一つの手段である。吾等は此の方法に於てのみ吾々の人格を保持することが出来るのであつて、論より證據の事實は諸君の現前に在るのではないか、即ち今回のストライキに對し當局は極力諸君を壓迫した時に、組合運動の終局の威力を確信し得ざる諸君の多くの人々は、此の當局の壓迫に驚いて自分々々だけの安全を計るために從來の結束を少し緩めた爲め、横暴なる當局は其隙に乗じて段々に諸君の生活を脅し、且つ諸君の結束が堅かつた時には猫の様に柔温しかつた御用組合の正義會や中正會の人々まで、近頃は諸君を凌辱し諸君の人格を蹂躪しだしたではないか。諸君は堅く團結の力を信じ、凡ての運動は其の終局に於て大勝利を得ることを信念とせねばならぬ。諸君は諸君と幸福を同一にせんと努力した多くの同僚の中から、八十數名の尊き犠牲として檢舉された人々の事を忘れてはならぬ。其他百有餘名の犠牲者のごとを忘れてはならぬ。

『罷工破り』と稱する労働者にして労働者に反逆せる中正會の人々は今や其の無耻を天下の識者から指彈されつゝある、諸君は諸君の團結を堅くすることに依つて、此の哀れな人間としての道徳を理解するの能をも有せざる中正會の人々をも他日には救濟してやる程に人間としての感激を持続せねばな